

# 『ソウル宣言』の会 暫定呼びかけ人会のメモ（記録）

6月16日（月）の暫定呼びかけ人の会合の結果メモ

期日：2014年6月16日 場所：東京・中野の「協同センター・東京」事務所にて

**暫定呼びかけ人 若森資朗他。現在手分けして募集中です…是非ご参加ください。**

参考＝6月16日現在の呼びかけ人になることに同意した人は下記の通り。

朝日健太郎（先駆社）、池田徹（一般社団・ユニバーサル志縁社会創造センター代表）、井上良一（元神奈川県職員、元地方自治体学会事務局長）、上原公子（元国立市長。脱原発自治体首長の会事務局長）、生田あい（「協同センター・東京・事務局長）、内田聖子（アジア太平洋資料センター事務局長）、小原紘（「韓国通信」編集長・アウシュビッツ博物館理事）、大江正章（アジア太平洋資料センター共同代表、コモンズ代表） 柏井宏之（共生型経済推進フォーラム理事）、北見秀司（東京女子大教授）、佐々木希一（NPO現代の理論）、下山保（元パルシステム生協理事長）、津富宏（静岡県立大学国際学部教授）、平山昇（元パルシステム生協）、富沢賢治（協同総合研究所副理事長・一橋大学名誉教授）、廣澤一男、藤木千草（WNJ, ワーカーズコレクティブ・ネットワーク・ジャパン）、牧梶郎（『葦牙』編集者、作家）、マット・ノイズ（明治大学特任講師）、丸山茂樹（参加型システム研究所）、森川貞夫（日本体育大学名誉教授）、柳沢敏勝（明治大学商学部教授）、横田克己（元生活クラブ生協＜神奈川＞理事長）、若森資朗（元パルシステム生協理事長）

## ●富沢賢治さん（協同総合研究所副理事長・一橋大学名誉教授）の講話

を聴いていてQ&Aと討論をした。

テーマ『**社会的経済に関する国際動向**』のレジメ及び同氏の論文「非営利・協同の10年」（雑誌「いのちとくらし」No. 46号所収）を提供して頂き、同氏の著作である「社会的経済セクターの分析」（岩波書店、1999年）、「非営利・協同入門」（同時代社、1999年）を参考文献として見せて頂いた。

- I. 1999年までの動向
- II. 2000年から現在まで
- III. 直近の状況
- IV. 関連する論文

討論の中で、国連の各種決議・勧告に照らして日本がいかにかこの分野で国際的に遅れているかが明確になった事、社会的経済と連帯経済を包含した「社会的連帯経済」という言葉を使う事、政府・規制改革会議の農協への政策は協同組合陣営全体への攻撃である事、社会的連帯経済が縦割り行政（分割支配）に対抗して幅広く連帯を実現する方向を打ち出す事、

協同組合の経営、運動、連帯、思想理論の危機を克服する課題を直視、伝統的な農協・生協だけでなく全国に無数に芽生えている小さな協同にも着目して、人々が目に見える

姿のオルタナティブ（代案）実践例を結集して行く事…などを語り合った。

## ● 討議して確認したこと

### ① 今後の段取り

- A. **第1段階** 呼びかけ文をつくり、呼びかけ人と賛同者を募る。
- B. 呼びかけ人と賛同者の名前で『プレ・フォーラム』（11月1日（土））と『ソウル・社会的経済フォーラム』（11月17（月）～19日（水））への参加を募る。
- C. 呼びかけ文の内容は、草案（牧梶郎案）へ討論の中身を盛り込み、または簡略化して『文案』をつくり、メーリング・リストで呼びかけ人に送る。これに対する皆さんの意見を出して戴いた上で、それを咀嚼して牧梶郎さんに文作成を委託する。その際に、呼びかけ人もしくは賛同人になってもらえるか、名前の公表はOKか、講評の場合の肩書を何にするか、の要請文を別に用意する。
- D. 7月中に作成、リスト、発送作業を終え、返事を得るようにする。
- E. **第2段階** 『プレ・フォーラム』の1-2か月前に、具体的な『プレ・フォーラム』への参加、『ソウルのグローバル社会的経済フォーラム2014』への参加を、プログラムを含めて作成して呼びかける。
- F. 第1段階で呼びかけ人もしくは賛同人への参加を働きかける人のリストは、既に参加している人が自分の判断で、働きかける。20名が夫々20名に呼びかければ400人になる計算。そのリストを事務局に集中することはしないが、呼びかけ人もしくは賛同人を了承してくれた人については事務局に集約し、ウェブサイトで公表する。
- G. 会場は集まり易い、明治大学駿河台キャンパスを第1候補（柳沢敏勝さんに可能性の打診…お骨折りいただく）、第2候補を専修大学とする。

## ● 『プレ・フォーラム』のイメージ

規模は200人～300人。11月1日（土）午後1時～6時。その後、懇親パーティ。

内容①行き詰まった社会・経済システムの中で生じている様々な危機を打開する有効なオルタナティブとしての社会的連帯経済の実践的意義を明らかにし、その関係で『ソウル宣言』と「グローバル社会的経済フォーラム2014」がもつ画期的な意味が明快に分かる講演・基調報告・（映像があれば使用）

②社会的連帯経済の分かり易い実践例を、全国から、また協同組合、自治体、地域のオルタナティブな活動など幾つかピックアップして報告し、討議する。

例：城南信用金庫、フェアトレード、レインボープラン、食料自給圏構想、関西生コン協同組合と労働組合、自然エネルギー、産直、福祉協同組合、原発廃棄、TPP反対運動、等々

## ● 暫定呼びかけ人会の仕事の分担と今後の事

未だ暫定的だが、

①呼びかけ人は、名前を連ね可能な資金を拠出するなど一定の責任を負う。

②賛同者、後援団体は種々のレベルで協力…名前を出す…資金を出す…その他

③仕事の分担（当面の作業を進めるため。皆で手分けして行う）

☆全体の調整・代表の役目—若森資朗さん

☆渉外・広報と事務局の役目—丸山茂樹さん

☆呼びかけ文の作成などの事務局仕事—牧梶郎さん

☆メーリング・リスト、ホームページの作成・管理など IT 関連の事務局—  
井上良一さん

☆会計—加藤さん

☆韓国側との連絡調整など—丸山茂樹さん、小原紘さん

☆関西の諸運動との連絡など—柏井宏之さん、生田あいさん

☆海外情報収集や翻訳など—北見秀司さん

☆その他、互いに分担・協力して行う。

④資金。会場費・印刷費・発送費・メール・HPのみならず、仮に朴元淳ソウル市長（または代理）を韓国からの招聘をすとか、帰国後に全国的な報告集会を北海道から沖縄まで開くこと等を考えると相当額の資金が必要です。予算と集め方などは今後の方針と関連するので後日改めて論議する。

### ●次回の呼びかけ人会

7月19日（土）午後6時~8時30分

中野の「協同センター・東京」の事務所にて

是非、ご参集下さい